# **東南アジア地域研究ゼミ**（担当者：篠崎香織 kaoris@kitakyu-u.ac.jp）

**1．東南アジア地域研究について**

このゼミでは、インドや中国、イスラム世界、欧米諸国、日本などとの接触を通じ、外部世界の文化・文明を摂取し、それを自分たちなりに改造して自らの社会を発展させてきた東南アジアの魅力に触れるとともに、東南アジアの人々の考えや論理を理解し、東南アジアから世界を見ることを目指します。

**2．ゼミの進め方**

■専門演習Ⅰ（1学期）

・東南アジア地域研究に関する日本語の基本文献を輪読します（**毎回、課題の提出があります**）。

前半：古田元夫『東南アジアの歴史』放送大学教育振興会、2018年。

※2024年4月に生協で購入できるよう手配します。

後半：東南アジアに関する基礎的な文献（論文）を読みます。

■専門演習Ⅱ（2学期）

・前半：東南アジアに関する基礎的な文献（書籍）を読みます。

・後半：ゼミ論の構想報告。東南アジアに関して自分が興味・関心を持つ事例について報告します。

※専門演習Ⅰ・Ⅱの双方またはいずれかで、北九州市または福岡市での校外学習を予定しています。

**3．受講の条件**

ゼミ開始（2024年4月）の時点で、東南アジア関連科目（東南アジア研究概論、東南アジアの社会と歴史、東南アジアの政治と外交）のいずれかを履修済みであること。上記科目を履修していないけれど本ゼミを希望する場合、その理由をゼミ希望票で説得的に説明してください。

**4．ゼミ希望票の書き方**

・東南アジア関連科目の履修状況を記載してください。

・東南アジアについて関心をもっている事柄について、これまでに読んだ文献（書籍・論文）の中から印象的なものを3本選び、それぞれの内容を要約し、どのような点で印象的だったのかを、1本につき400字程度で説明してください（3本の書籍・論文がどのような関心に基づいているのかがわかるように説明してください）。そのうえで、ゼミ論および卒論でどのようなテーマに取り組みたいかを記載してください。

・どのような文献を選択しているのかも受入れの可否の判断材料とします。

・文献の書誌情報は、『アカデミック・スキルの基礎』を参照し、正確に記載してください。

**5．ゼミ見学**

見学を歓迎します。見学を希望する場合は、前日正午までにご連絡ください。